

出題の具体例

必須問題のイメージ⑦

【薬の効くプロセス】

薬の効き方Ⅱ … 代謝系に作用する薬 … カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬、薬理作用

(出題7) 次のうち、腸管でのカルシウム吸収を促進して血清中 Ca^{2+} 濃度を上昇させることにより、骨粗しょう症治療薬として用いられているものはどれか。

- 1 エルカトニン 2 アルファカルシドール 3 メナテトレノン 4 エチドロン酸 5 イプリフラボン

[正答] 2

医療薬学【医薬品の作用】

内分泌・代謝系に作用する薬物 … 骨粗しょう症治療薬

(参考) 第92回薬剤師国家試験 医療薬学(問145)

骨粗しょう症治療薬に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a エルカトニンは、破骨細胞による骨吸収を抑制するが、骨粗しょう症性疼痛には無効である。
- b アルファカルシドールは、腸管でのカルシウム吸収を促進して血清中 Ca^{2+} 濃度を上昇させる。
- c メナテトレノンは、活性型ビタミン D_3 存在下にオステオカルシンの生成を促進する。
- d エチドロン酸は、ヒドロキシアパタイトに結合せず、破骨細胞の機能を直接抑制する。
- e イプリフラボンは、エストロゲン受容体を遮断し、骨吸収を抑制する。

- 1 (a, b) 2 (a, e) 3 (b, c) 4 (c, d) 5 (d, e)

[正答] 3

一般問題のイメージ⑦